

8月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和3年8月末現在〕

令和3年9月10日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、全てで悪化した。

業種別でも、製造業・非製造業ともに「景況」「売上高」「収益状況」全てで悪化した。

新型コロナウイルス第5波の感染拡大による、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の外出自粛等の影響を受け、幅広い業界で売上高や収益等が大幅に悪化した。

景況DI

製造業は、前月比で11.5ポイント悪化の▲42.3ポイント、非製造業は、前月比8.3ポイント悪化の▲45.8ポイント、全体では、前月比10ポイント悪化の▲44.0ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比19.2ポイント悪化の▲26.9ポイント、非製造業は、前月比54.2ポイント悪化の▲54.2ポイント、全体では、前月比36.0ポイント悪化の▲40.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比23.1ポイント悪化の▲46.2ポイント、非製造業は、前月比20.9ポイント悪化の▲54.2ポイント、全体では前月比22.0ポイント悪化の▲50.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品製造業	学校給食パン	新型コロナウイルス感染拡大のため、夏休み明けの学校始業が遅れている。このまま9月いっぱい給食停止が続いた場合は、資金繰りが深刻化する。
	清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県7月の清酒課税移出数量は、前年同月比89.0%であった。前月に引き続き前年同月比でマイナスとなり、コロナ禍前の前々年同月比でも77%の減でかなり厳しい。本格焼酎については、前年同月比71.0%であったが、前々年同月比では54%とさらに厳しい状況。当県を含め首都圏で緊急事態宣言が発令され、酒を取り巻く環境は非常に厳しい。清酒の輸出については、県や企業間で温度差があるもののコロナ禍で国内マーケットが不安定な中、輸出に力を入れて、令和3年6月の前年同月比輸出数量(全国ベース)は、164.5%と好調であった。新型コロナウイルスの感染が落ち着いている、香港・中国が好調で、香港・中国・米国で輸出の60%以上を売り上げている。 ○県内当業界について 新型コロナウイルスワクチンの接種率もまだまだであり、現在も旅行・会食の自粛が続いている。外飲みが期待できない中、購入の選択肢に品質が高くなっている地酒をアピールしていくことが課題と感じている。まずは地元茨城での地酒購入推進に注力する。
	納豆	観光土産用の納豆の売上は、前年はGoToトラベルの効果もあり多少は良かったが、今年は観光客がほとんど来ないために、売上が大変厳しくなっている。一般消費者用の納豆についても、原料や資材の価格高騰の影響で、収益が厳しくなっている。10月より最低賃金が高くなる予定だが、人件費の増加等により、今後の経営が大変厳しくなるのではないかと。
	菓子	一年半以上に及ぶコロナ禍で市民は疲れている。特定の業種にとどまらず、負の循環が始まり、不況になるのではないだろうか。
	漬物	国の緊急事態宣言が発令された8/20頃から、飲食店向け・一般消費者向け商品の売上が共に悪化した。
繊維工業	袋物	新型コロナウイルスの感染がある程度収まらない限り、仕事量の増加には繋がらないように感じる。仕事量をどうやって維持するかの問題もある。
木材・木材製品	製材	・ウッドショックの製品不足も徐々に落ち着きを見せているが、杉KD材の柱材・羽柄材は品薄状態が続いている状況である。 ・外材は、8月に入り材料の荷動きが順調に推移している。 ・原木については、お盆前からの長雨の影響で出荷量が不安定な状況。
	県北地区プレカット	8月は休日が多いので、加工坪数は目標(1年の目標を12で割った1か月当たりの目標)の60%であった。木材価格は高値で推移し、一部商品で欠品があり、加工予定が順調には進んでいない。
	県央地区プレカット	材木店・木材市場でも木材の調達が困難な状況が続いているため、木材の在庫を抱えている大型プレカット工場へ仕事が流れてしまっているケースもある。
紙・紙加工品	段ボール	前年同月と比べると、若干であるが売上が悪いという組合員が多かった。しかし、大手企業は前年同月比で10%超で売上が増加した企業もあるなど、大手企業と中小企業の格差を感じる。現在、求人募集をしても全く人が集まらない。中小企業には人手が来ない。
印刷	総合印刷	前年同月と同じくコロナ禍にあって、売上高や業界の景況等は低調に推移しており、前年同月比では不変であるが、コロナ禍以前の景況水準には到底及ばない状況が続いている。コロナ禍で、データのやり取りが一層進み、「紙への印刷」需要が大きく落ち込んでいる状況に対して、中小零細印刷業者の不安感は大きい。
化学・ゴム	自動車部品	先行き不透明である。
窯業・土石製品	県西地区石工品	コロナ禍で需要が減少したままなので不安である。
	陶磁器	笠間市内で秋(9~10月)に開催予定だったイベントが、新型コロナウイルスの影響により、いずれも中止になった。地元の陶芸家や販売店にとっては非常に大変な事態である。先の見通しが見えない状況がいつまで続くのか、不安である。できる事をやっていくしかない。
鉄鋼・金属	鉄鋼	売上は前月と同様、前年同月比で10%程度増加した。しかし、前年同月の実績が悪すぎたため、前々年同月比は10~15%程度の減少である。新型コロナウイルスの影響で、得意先各社のお盆休みが長期化した。その影響もあり組合員各社の休日も相対的に増えた。連休後受注量は一時的に増えたが、9月以降は自動車関連企業の減産の話も出ているので、景気状況は悪化すると思われる。原材料は全ての金属について値上がりしている。薬品関係について大きな変動はない。
一般機器	生産用機械	対象7組合員(製造会社)の売上状況は、前年同月比ですべて増加となった。全体増減率は前年同月比135%であった。前年同月がコロナ禍による売上大幅減少という要因があるものの、当月も前月に続いて直近5年間で最大の売上高を確保。全組合員が売上増加となり、主要取引先が好調であるのを受け、業績改善傾向が続いている。
輸送用機器	県北地区自動車部品	売上高は徐々に回復しているが、まだ従前の状況には至っていない。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和3年8月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比5.57%減少。お盆休み前の新型コロナウイルスの感染拡大、緊急事態宣言下での外食産業の時短営業が続いているため、仲卸業者、一般買受入等は厳しい状況が続いている。また、荷受業者も輸入商材の品薄に伴う単価の上昇、これから旬を迎えるサンマの不漁など厳しい状況である。
	米麦卸売業	今年度産の米の収穫が始まったが、米価は前年産の2割安となっている。前年と比較して、今年度は米価は下がったものの、前年産米の在庫があるため、新米の販売が厳しい状況である。
	セメント卸	袋セメントの出荷袋数は前年同月比約10%減少した。工事の減少に加えて、長雨による工事の遅れが減少を加速させた。
小売業	県北地区共同店舗	売上は前年同月比96.3%、客数は同94.3%で、前年同月の売上を確保した店舗は38%であった。緊急事態宣言の影響もあり、厳しい結果となった。今月から始まる市のプレミアム付き商品券の二次販売に期待したい。
	県央地区共同店舗	館全体の既存店売上(客数)は前年同月比97%(98%)、前々年同月比では売上は90%(89%)であり、食品98%(102%)、飲食97%(94%)、ファッション85%(84%)であった。8月12日(木)~16日(月)はお盆特集、8月20日(金)~22日(日)テイクアウト特集を開催した(チラシ折込)。県の非常事態宣言、国の緊急事態宣言により売上・客数共に減少。特に、お盆期間は帰省や外出自粛により減少が目立った。マスク・マスク生地・消毒液など前年好調だった商品需要が落ち着き、対象商品販売店舗は売上・客数共に大きく減少している。9月1日(水)から開始した「笠間市プレミアム付商品券」利用により売上・客数の増加に期待したい。
	県南地区共同店舗	今月も夏休みやお盆に合わせたイベント・催事等が一切出来ず、集客に苦戦した。持ち帰り需要のある飲食店部門はまずまずだが、物販・食品・サービス部門は大苦戦だった。売上高は前年同月比で全体93.2%(前々年同月比75.8%)、衣料品86.4%、文化品72.6%、食料品85.8%、飲食107.1%、サービス93.0%となった。
	家電	販売面は巣ごもり需要の鈍化が見られる。また、新型コロナウイルスの感染拡大というマイナス要因により、売上は減少。しかし、DMの活用に加え、買替需要を取り込んでおり、景況としては悪化までは至っていない。9月は引き続き、DMなど顧客と接点を持つ活動に取組み、売上の挽回を図っていきたい。
	燃料小売	前年同月よりもガソリンの販売数量・販売価格は上昇したが、原油価格上昇分の仕入値を販売価格に転嫁出来ずにおり、収益状況は悪化していると言える。また、当月は緊急事態宣言が発令され、お盆期間も車での移動はあまり増えなかった。さらに、天候も悪く、燃料油以外の洗車等の売上も減少した。
	中古自動車	販売台数は前年同月比70.1%と大きく減少し、販売価格が同90.8%と低下したため、売上高は同63.6%と大幅に落ち込んだ。長引く半導体不足や東南アジアの新型コロナウイルス感染再拡大による部品供給の停滞の影響で、新車製造・販売の減少で流通車が不足しているため、仕入価格の高騰も続いており、中古車販売業界は非常に厳しい環境下にある。
	食料品	食品流通業により、新型コロナウイルス感染拡大の中での食のライフラインを担っているため、組合員の売上に関しては比較的好調に推移してきた。しかし、前年の巣ごもり需要の拡大の実績の影響を受け、今年3月からは前年実績から大きく下回ってしまった。8月は関東圏の緊急事態宣言により県をまたぐ移動の自粛要請もあり、お盆商戦が大変厳しかった。その影響が大きく、店頭売上は前年同月比90%以下の店舗が続出した。そうした中でも、店頭・バックヤードの新型コロナウイルス感染対策を万全にする努力をすることで、「安心・安全」な店にしている。
	野菜・果実	8月は前年同月比で野菜果実合計で82%の取扱い高となった。当月上旬から中旬にかけては、先月までと同じく引き続き単価安で推移した。一転して、下旬には茨城県産作物からの産地の移行や、台風や長雨などの悪天候の影響により、多くの品目で入荷減や品質の低下を招き、最終的には単価高で推移することとなった。まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の発令はあったが、組合員からは、自粛疲れの影響からか自炊が減り、出来合いの総菜や冷凍食品へ需要が流れているため、青果物の売上が減っているとの話も聞かれた。
	商店街	筑西
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、前年同月比で普通車が104.8%、軽自動車が105.5%であった。稼働日数が1日多いため、普通車・軽自動車ともに微増となった。
	ホテル・旅館	まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の影響により、県内各地で予定されていた小中高生の各種スポーツ競技の全国大会や合宿がキャンセル。また、首都圏大学生サークルの合宿、社会人の研修等全てがキャンセルとなった。更に例年開催されている花火大会等の地域イベントの中止、Rock in Japanの中止等、今までに前例がない程の収益の悪化となっている。先に見えない状況下にあって、宿泊施設の存続が危ぶまれている。
建設業	総合	当月は大きな変化はなかった。学校関係の発注も少なく、各組合員企業も受注量は少ない。経営的にも厳しい状況が続く。
	管工事	7月に水道局より発注された布設替工事(古い水道管を交換する工事)が、少しずつ着工し始めたため、売上が増加した。
	型枠工事	新規物件も発注されてきたが、当業界は、いまだに盛況ではない。前月に引き続き、県北地方の工事量は、前年度より少ない状況が続いている。さらに、ウッドショックによる木材の手配難が厳しくなってきた。また、鋼材の値上げを含め、経営状況を悪くしている。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和3年8月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非製造業	運輸業	
	一軽貨物運送	当月の組合員数は117名、車輛台数は150台で前月と比較して増減なしとなった。また、運送売上高については、前年同月比111.7%であった。全国連合会での当月の組合員数は7,340名、車輛台数8,719台で前月と比較して32名減少、41台減少であった。
	県北地区一般貨物	オリンピック期間中の首都圏向け物量が減少、お盆休みもあり売上高は更に減少。一方、燃料価格は高値で推移しており、収益も更に厳しい状況にある。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食パン	学校給食におけるパン給食回数の増加要望
	清酒	茨城にも緊急事態宣言が発令され、酒の提供が禁止となった。飲食店のみならず、酒蔵は大打撃であり、行政から酒の供給側への追加の一時支援金等の財務支援のご検討をお願いしたい。
	納豆	昨年は新型コロナウイルス関係の様々な補助金があったが、今年はほとんど(観光関係)がないので、何らかの手当があれば助かる。
小売業	県央地区共同店舗	店舗の売上減少や退店により収入が減少している。協同組合や店舗が活用できる補助金や助成金の情報を教えて欲しい。
	燃料小売	揮発油税に課税している二重課税の廃止。
商店街	筑西	政治家には、この新型コロナウイルスの影響により、本当に苦しんでいる人や中小企業がいる事を真剣に向き合って欲しい。現状を考えれば、選挙やオリンピックどころではない。新型コロナウイルスに感染して病院が満床で入院出来ない人、自宅療養するにも家庭内感染が怖くて自家用車に寝泊まりしている人、この現状が先進国である日本なのか不安である。
建設業	総合	コロナ禍が収まった後の行政の財政状況の予測を公表して、公共工事関連予算の長期的見込みを発表していただきたい。
	型枠工事	茨城県は木材の供給量が多いと思う。さらに、型枠用合板や桧木(さんぎ)、端太角(ばたかく)の生産を増加してくださるよう、よろしくをお願いしたい。

月次景況調査 8月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	8月	7月	前月比	8月	7月	前月比	8月	7月	前月比
景 況	▲ 44.0	▲ 34.0	▲ 10.0	▲ 42.3	▲ 30.8	▲ 11.5	▲ 45.8	▲ 37.5	▲ 8.3
売 上 高	▲ 40.0	▲ 4.0	▲ 36.0	▲ 26.9	▲ 7.7	▲ 19.2	▲ 54.2	0.0	▲ 54.2
収 益 状 況	▲ 50.0	▲ 28.0	▲ 22.0	▲ 46.2	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 54.2	▲ 33.3	▲ 20.9
販 売 価 格	▲ 4.0	0.0	▲ 4.0	▲ 3.8	▲ 3.8	0.0	▲ 4.2	4.2	▲ 8.4
取 引 条 件	▲ 22.0	▲ 16.0	▲ 6.0	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 7.7	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 4.1

中小企業月次景況調査(令和3年8月)DI値(前年同月比)

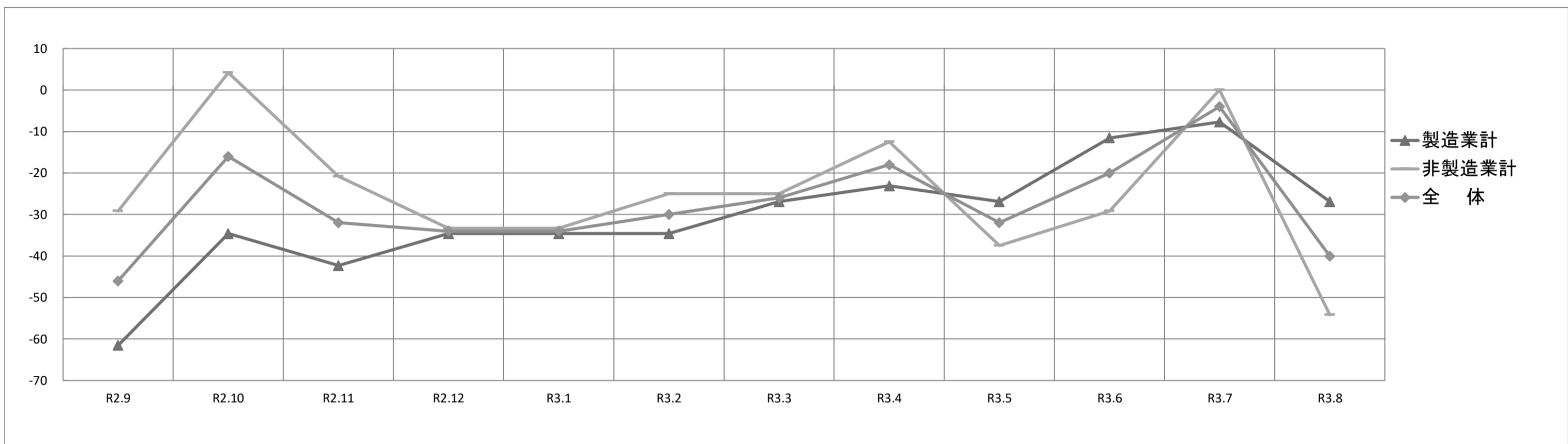
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況																																																
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)																																																	
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数																																										
製造業	食料品	△ 100.0	0	0	6	6	0.0	1	4	1	6	0.0	0	6	0	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 83.3	0	1	5	6	△ 83.3	0	1	5	6	△ 66.7	0	2	4	6	△ 33.3	0	4	2	6	△ 83.3	0	1	5	6																																			
	繊維工業	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3																																			
	木材・木製品	33.3	1	2	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3																																			
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1																																			
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1																																			
	化学・ゴム	△ 100.0	0	0	1	1	100.0	1	0	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1																																			
	窯業・土石製品	△ 40.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 60.0	0	2	3	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 40.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5																																			
	鉄鋼・金属	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1																																			
	一般機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	100.0	1	0	0	1	100.0	1	0	0	1	100.0	1	0	0	1																																			
	電気機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1																																			
	輸送機器	66.7	2	1	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3																																			
製造業計	△ 26.9	5	9	12	26	△ 7.7	2	20	4	26	△ 3.8	1	23	2	26	△ 23.1	0	20	6	26	△ 46.2	1	12	13	26	△ 42.3	0	15	11	26	△ 26.9	2	15	9	26	△ 7.7	1	22	3	26	△ 42.3	1	13	12	26																																				
非製造業	卸売業	△ 100.0	0	0	3	3	0.0	1	1	1	3	0.0	1	1	1	3	0.0	0	2	1	3	△ 100.0	0	0	3	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 26.9	2	15	9	26	0.0	0	3	0	3	△ 100.0	0	0	3	3																																			
	小売業 (商店街含む)	△ 66.7	1	2	9	12	△ 8.3	0	11	1	12	△ 8.3	1	9	2	12	△ 33.3	0	8	4	12	△ 66.7	0	4	8	12	△ 33.3	0	8	4	12						△ 16.7	0	10	2	12	△ 50.0	0	6	6	12																																			
	サービス業	△ 50.0	0	1	1	2	△ 6.7	1	12	2	15	△ 4.2	2	19	3	24	△ 20.8	0	19	5	24	△ 54.2	0	11	13	24	△ 25.0	0	18	6	24						△ 8.3	0	22	2	24	△ 45.8	0	13	11	24																																			
	建設業	0.0	1	3	1	5																																									0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5					
	運輸業	△ 50.0	0	1	1	2																																									0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2
	非製造業計	△ 54.2	2	7	15	24																																									△ 6.7	1	12	2	15	△ 4.2	2	19	3	24	△ 20.8	0	19	5	24	△ 54.2	0	11	13	24	△ 25.0	0	18	6	24	△ 8.3	0	22	2	24	△ 45.8	0	13	11	24
全 体	△ 40.0	7	16	27	50	△ 7.3	3	32	6	41	△ 4.0	3	42	5	50	△ 22.0	0	39	11	50	△ 50.0	1	23	26	50	△ 34.0	0	33	17	50	△ 26.9	2	15	9	26	△ 8.0	1	44	5	50	△ 44.0	1	26	23	50																																				

D I 値推移表 (R2. 9月 ~ R3. 8月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R2. 9	R2. 10	R2. 11	R2. 12	R3. 1	R3. 2	R3. 3	R3. 4	R3. 5	R3. 6	R3. 7	R3. 8
食料品製造業	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 100.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 60.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 15.0	5.0	10.0	▲ 5.0
製造業計	▲ 61.5	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 26.9
卸売業	25.0	100.0	25.0	▲ 50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	100.0	33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 100.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4	9.1	▲ 16.7	▲ 58.3	▲ 41.7	▲ 8.3	▲ 66.7
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0
建設業	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	0.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 29.2	4.2	▲ 20.8	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 29.2	0.0	▲ 54.2
全体	▲ 46.0	▲ 16.0	▲ 32.0	▲ 34.0	▲ 34.0	▲ 30.0	▲ 26.0	▲ 18.0	▲ 32.0	▲ 20.0	▲ 4.0	▲ 40.0

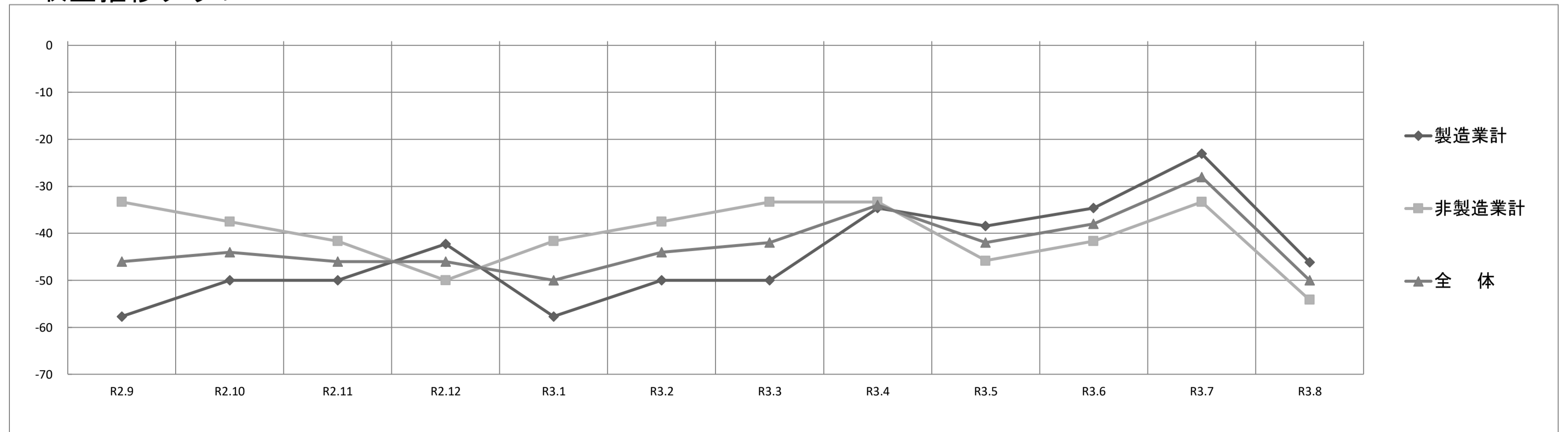
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R2. 9	R2. 10	R2. 11	R2. 12	R3. 1	R3. 2	R3. 3	R3. 4	R3. 5	R3. 6	R3. 7	R3. 8
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 83.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 65.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 35.0	▲ 55.0	▲ 45.0	▲ 50.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 15.0	▲ 35.0
製造業計	▲ 57.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 42.3	▲ 57.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 34.6	▲ 38.5	▲ 34.6	▲ 23.1	▲ 46.2
卸売業	50.0	50.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	0.0	▲ 100.0
小売業(商店街含む)	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 36.4	▲ 41.7	▲ 58.3	▲ 41.7	▲ 58.3	▲ 66.7
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0
建設業	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	0.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 33.3	▲ 37.5	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 37.5	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 45.8	▲ 41.7	▲ 33.3	▲ 54.2
全体	▲ 46.0	▲ 44.0	▲ 46.0	▲ 46.0	▲ 50.0	▲ 44.0	▲ 42.0	▲ 34.0	▲ 42.0	▲ 38.0	▲ 28.0	▲ 50.0

《収益推移グラフ》

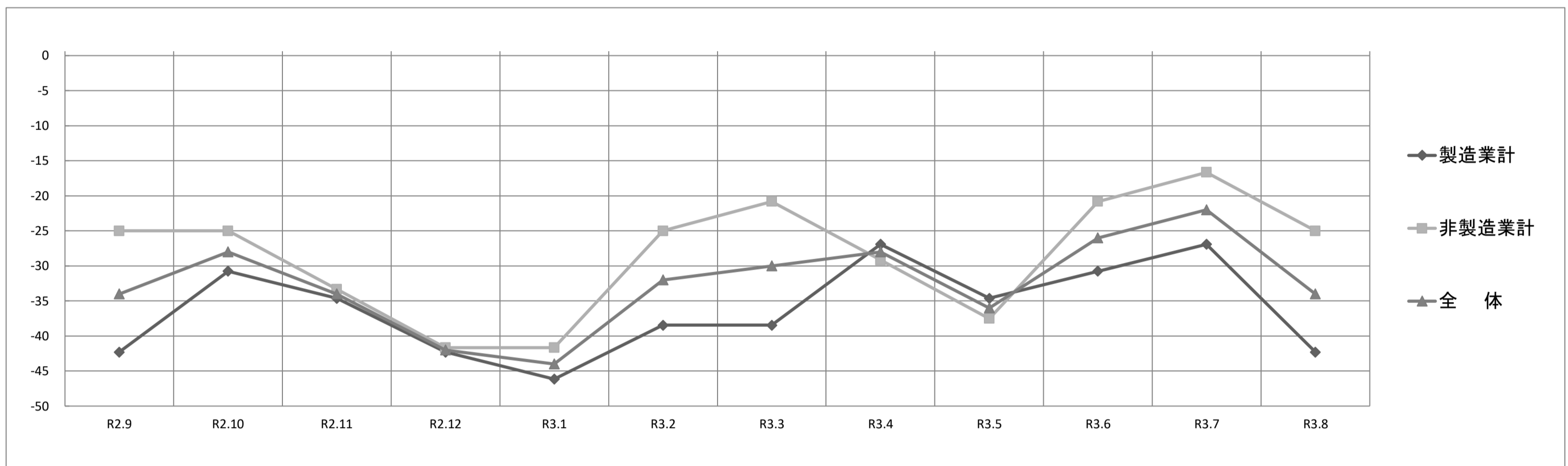


D I 値推移表 (R2. 9月 ~ R3. 8月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R2. 9	R2. 10	R2. 11	R2. 12	R3. 1	R3. 2	R3. 3	R3. 4	R3. 5	R3. 6	R3. 7	R3. 8
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 83.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 45.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 30.0
製造業計	▲ 42.3	▲ 30.8	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 46.2	▲ 38.5	▲ 38.5	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 42.3
卸売業	50.0	50.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 45.5	▲ 18.2	▲ 41.7	▲ 58.3	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 33.3
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 37.5	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 25.0
全体	▲ 34.0	▲ 28.0	▲ 34.0	▲ 42.0	▲ 44.0	▲ 32.0	▲ 30.0	▲ 28.0	▲ 36.0	▲ 26.0	▲ 22.0	▲ 34.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R2. 9	R2. 10	R2. 11	R2. 12	R3. 1	R3. 2	R3. 3	R3. 4	R3. 5	R3. 6	R3. 7	R3. 8
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 60.0	▲ 25.0	▲ 45.0	▲ 30.0	▲ 55.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 30.0
製造業計	▲ 57.7	▲ 38.5	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 57.7	▲ 38.5	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 42.3
卸売業	0.0	25.0	25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 33.3	▲ 100.0	▲ 66.7	▲ 100.0
小売業(商店街含む)	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 50.0
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0
建設業	0.0	20.0	20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	▲ 40.0	▲ 40.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 37.5	▲ 29.2	▲ 33.3	▲ 54.2	▲ 45.8	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 29.2	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 37.5	▲ 45.8
全体	▲ 48.0	▲ 34.0	▲ 42.0	▲ 46.0	▲ 52.0	▲ 32.0	▲ 34.0	▲ 32.0	▲ 38.0	▲ 40.0	▲ 34.0	▲ 44.0

《景況推移グラフ》

